

# 令和5年度第3回広島市公民館運営審議会 会議要旨

日時	令和6年3月28日(木) 午前10時30分～11時30分		
場所	広島市役所 北庁舎3階 第2会議室		
公開・非公開の別	公開	傍聴人	1人
出席者	<p><b>委員</b> : 中尾常信、縄手淳子、西川富江、森重洋、岩元佳子、大坪眞理子、松田弥花、山川肖美、脇谷孔一</p> <p><b>事務局</b> : 中谷市民局次長、田尾生涯学習課長、甲斐主査、中村主事</p> <p><b>地域起こし推進課公民館担当課長</b> (区調整公民館長) : 砂原課長 (中区)、平野課長 (東区)、浅木課長 (南区)、中村課長 (安佐南区)、森口課長 (安佐北区)、女鳥課長 (安芸区)、伊藤課長 (佐伯区)</p> <p><b>(公財)広島市文化財団</b> : 国府田次長</p>		
資料名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度第3回広島市公民館運営審議会次第</li> <li>・ 資料1 令和6年度生涯学習・社会教育関連予算について</li> <li>・ 資料2 第76回(令和5年度)優良公民館表彰受賞について</li> <li>・ 参考資料1 広島市公民館運営審議会関係法令等(抜粋)</li> <li>・ 参考資料2 己斐公民館の移転建替えについて</li> </ul>		

## 議事(会議要旨)

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 令和6年度生涯学習・社会教育関連予算について

〈説明〉

資料1に沿って説明(田尾生涯学習課長)

〈質疑等〉

#### 脇谷委員

移転に伴い現施設が休館する期間が少し長いと感じた。同期間は、公民館機能が失われる期間であるため配慮が必要と考える。

また、私の居住する町内会では、津波が発生した際に避難場所がないという地域課題が挙げられている。付近で避難場所に指定されている学校があるが、津波の際の避難場所に適した4階以上の建物が少ない。民間のマンションを、緊急時の避難場所として提供してもらえないか検討したが、プライバシー等の問題があるためマンションの住民の方に受け入れてもらえない。

このような問題があるため、新たに建てる公民館については、緊急避難できるような屋上スペース等があればいいと考える。

今後の公民館の更新計画等の折に、地域性に応じてご検討いただきたい。

#### 山川委員長

それでは、己斐公民館の移転期間中の配慮について説明いただきたい。

#### 田尾生涯学習課長

休館期間については、準備等を含め2か月から3か月を予定している。

公民館職員は旧公民館と新公民館を行き来しているため、休館期間の運営について何らかの形で配慮できないか検討していきたい。

また、公民館を建設する際には建設準備委員会を設け、地域の実情に配慮しながら建設の検討をすることとなっている。地元から要望があれば、地理・地域的な問題を考慮しつつ避難場所にもなり得るか検討したい。

#### **山川委員長**

新築工事中に、近隣の公民館との連携を考えているか。

#### **田尾生涯学習課長**

己斐公民館の休館期間は、近隣の公民館を紹介する等して、なるべく利用者の方が困らないような対応を検討したい。

#### **岩元委員**

令和6年度の学習会開催に係る予算に関連して、学習会開催に必要なインターネットやwi-fi環境について、通信速度が遅い等の課題があると考えている。

最近では、公民館で実施した講座に関するアンケートで、google フォームを活用しており、IT化が進んでいると感じるが、参加者が一斉にアクセスすると google フォームが開かないことがあるため、もう少しインターネット環境の拡充に目を向けていただきたい。

#### **田尾生涯学習課長**

公民館の通信環境は随時更新しているため、必要に応じて公民館事業の実施状況等に対応した環境整備や機器の更新をしていきたいと考えている。

#### **山川委員長**

予算は事業計画とセットだと考えるため、主な事業だけでも事業計画の説明があると、それに紐づく予算であることが分かり理解がしやすい。

今回、令和6年度の予算説明があったが、事業計画については毎年7月頃に開催される第1回公民館運営審議会の中で説明をしていただいている。予算説明と事業計画の説明とにタイムラグがあるが、これは会議の時期の設定の問題なのか。

#### **事務局**

会議の時期については、7月より前にずらすことは可能と考えている。ただ、年度初めに文化財団で各公民館の年度計画を取りまとめて生涯学習課に提供してもらっているため、予算説明に合わせて事業計画の説明を行うのは事務的に難しいと考える。

#### **山川委員長**

令和6年3月25日に、文化財団の評議員会に出席した際に、来年度の公民館を含めた事業計画が出ていた。

同財団の承諾を得た上で、公民館運営審議会において事業計画の説明を行うことは日数的にはかなり難しいと思うが、可能であれば、今回説明をしていただいた公民館関連予算についての事業計画の説明があれば、委員の皆様が意見を出しやすいのではないかと。

### 田尾生涯学習課長

事業計画及び予算説明の時期については、どのような時期にどのような形で説明をするのかを検討し、公民館運営審議会で委員の皆様により分かりやすい説明をさせていただきたい。

### 山川委員長

毎年、年度末に予算説明をしていただき、翌年度初めに事業計画について議論しているところではあるが、これからの公民館の在り方について、今まで以上に考えていく必要があると思っているため、ぜひ事業計画及び予算説明の時期についての検討をお願いしたい。

### 田尾生涯学習課長

どのような公民館事業を実施していくかについて、委員の皆様には早い段階で議論をしていただけるよう今後の対応を検討したい。

### 山川委員長

令和5年度の事業報告時に、委員の皆様と実施事業について検証した上で、今後の事業の方向性について議論し、翌年度予算に反映できるよう検討できればありがたい。

## (2) 第76回（令和5年度）優良公民館表彰（文部科学大臣表彰）受賞について

### 〈説明〉

参考資料2に沿って説明（高路社会教育主事）

### 山川委員長

里山を含めた地域資源は人の手や知恵が加わってこそ、効果的に活用できることを教えていただいた。地域資源を活用した社会教育を通して、人と人の繋がりや地域経済を作っているとても豊かな事例だと思う。

### 西川委員

説明を聞きながら、私が小さい頃にあった水車を思い出した。地域の自然を活用したとてもよい活動だと思う。

### 中尾委員

これまでは、ほたる祭りを開催するため、蛍の幼生を育てて川へ放流してしたが、令和5年度は豪雨災害の改修工事で放流ができなかったため、ほたるきんさい祭りを開催した。

田舎の方に行って蛍を採り、阿戸の川へ放流しても、採取した環境と放流した環境が違うためうまく育たない。蛍が育つ自然環境を整えていかないと、昔のように蛍を楽しむことはできないのが現状である。

昔の資料を見ると、小学校で蛍の幼生の餌となるカワニナを育てている写真記録が残ってる。子ども達が祭りを通して、自然環境や生物に触れることは良いことだと感じる。

### 森重委員

蛍を中心にして、まちづくりを実践していることに大変感動した。

阿戸町の自然を活用した活動により、地域の外から来る方は増えたが、地元の方がなかなか参加しないという説明があったが、やはり、地元の方は地域の良さに気づきにくいのだと思った。

また、祭りの運営に関わっているおやじの会や女性会の皆さんが、今後も若さを生かして、この活動に良い変化を与えてほしい。

阿戸町の中心部に位置し、地域のコミュニティの中心となっている公民館が、地域で行われる様々なイベントを結び、より多くの方々が参加するような活動を生み出せたら良いと考える。

### **大坪委員**

とても素晴らしい取り組みされてると感じた。

私も古田公民館を中心としてワンダフルタという活動しているが、運営者側のメンバーの固定化が課題となっているため、地域の方に加え、企業も運営に参加している阿戸公民館の取組みを参考にさせていただきたい。

企業や地域団体に対して、どのように公民館活動への参加を呼びかけているのかお聞きしたい。

### **高路社会教育主事**

「竹あかり&ほたる祭り」は、平成28年からスタートしている。

小学校及び中学校の元PTAの方で構成されたおやじの会の方々が主体となり、活動に関係する団体等に声をかけながら参加者の輪を広げ、ここ数年は実行委員会の形式をとり運営活動を行っているようである。

コロナウイルス感染拡大の影響から、高齢の方はどちらかというところ、コロナウイルスが蔓延するのを警戒し、活動をやめてほしいという意見が多く、反対に若い方は、今の小中学生にいろいろな経験をさせてあげたいという思いから、活動をしたいという意見が多かったため、地域の世代間の確執が起きないように、公民館が活動を再開したという体にして進めてきた。

また、コロナ禍により一旦活動を中断し、改めて活動を再開してから、初めて開催した祭りについては、SNS等での広報は控え、地域の子供たちの楽しい思い出作りをすることを目的として開催した。

一度再開すると、地域の方々も放っておけないという気持ちになっていただいたのか、活動に関わってくださる方も増えて、令和5年度には規模の大きな祭りが開催できた。

### **松田委員**

先ほどの説明では、阿戸町は外国人の方も含めて人口が1,900人とおっしゃっていたが、外国人の方もこのような活動に参加しているのかをお聞きしたい。また、今回 どういった点が評価されて受賞に至ったと思われるかご教示いただきたい。

### **高路社会教育主事**

祭りの運営に協力いただいている商工会があり、そこに所属する企業で働く外国人の方が家族連れで活動に参加している。

### **事務局**

開館時から継続して学習活動を実施している点や、地域団体と密な連携を取り、世代間で交流できるような場を設けることで地域のコミュニティが形成されている点が、評価されたと考え

ている。

#### **脇谷委員**

今後、小学生や中学生が、参加者や協力者という立場から、運営や企画の担い手になるような働きかけを公民館が行っていけば良いと考える。子供たちに対して個別に声掛けを行い、地域の活動への参加を促し、地域の中で育っていく場を提供することは、公民館だからこそ可能だと思う。

#### **縄手委員**

知り合いが阿戸に住んでおり、住民は高齢者ばかりと聞いていたが、若い方が多く阿戸公民館の活動に参加していることを知り安心した。

豊かな自然を活用した素晴らしい取り組みをされており感心して説明を聞いていた。

#### **岩元委員**

活動への愛情が伝わってくる発表だと感じた。

PTA や子供会の活動がだんだんと縮小されている中で、子供たちが次の世代を担っていくための体験の場を公民館が提供しており、とてもありがたいことだと思う。

これからも、公民館において様々な世代の体験の場を作り出してほしい。

#### **山川委員長**

委員の皆様からいただいた意見を、事務局や公民館の皆様はしっかり受け止めて、今後の公民館事業に活かしていただきたい。

### **3 閉会**

#### **山川委員長**

長時間になったが、熱心に御意見、御支援いただいた。終了予定時刻になったのでこれをもって本日の会議を閉会する。